

# みやま 共同作業所 通信

みやま共同作業所広報紙

第2号

2002.11.27

発行  
美山社会福祉協議会  
〒601-0751 美山町島 町民センター内  
TEL.0771-75-1660 FAX.0771-75-0829

## 京都とっておきの芸術祭

お面



教養の時間に、  
江藤先生の指導で  
創作活動をして来ました。  
本当にみんな喜んでいます。

京都府知事賞受賞





6月~  
10月の

# 活動報告

7月30日  
海を見る会  
(小浜)



6月19日  
郡スポーツ  
交流会  
(自然文化村)



## 福祉フェスタ

8月15日  
京都駅ビル



8月21日  
綾部アスバ



6月27日 買物実習 (京都ファミリー)



7月10日  
調理実習



8月27日  
デイキャンプ  
(自然文化村)





9月16日

### 京都府障害者スポーツ大会

(西京極陸上競技場)



10月4~6日

### 京都とっておきの 芸術祭 (京都文化博物館)



10月16日

### 美山町障害者 スポーツ大会 (美山育成苑)



10月19日

### やすらぎホームで 合唱の発表会



団結リレー

玉入れ



パン食い競走



10月お誕生会



◎ アルミ缶リサイクル事業 ◎



皆さんのご協力で多くの収益を  
上げることができました



このごろ思っていること

所長雑感

竹内 晶

一般の人から見て、共同作業所はどのように思われているのだろうか。「内職工場」「障害者のたまり場」「なんかかわかん」などなど。どれも言えてる様ですこしちがう。共同作業所は、福祉施設だ。今の福祉は昔と違い、保護と救済から自立支援に変わってきた。障害をもった人たちが、この地域で可能な限り普通に暮らしていくにはどんな支援が要るのだろうか。一人一人の必要に合わせて考えなければならぬ。「ここでなら安心して働ける」、「ここに来れば仲間がいる」、「ここでいっばい初めてを経験した」、「ここを通して社会参加ができた」、そんな場所でありたい。

つい先日、身体障害者福祉会と一緒に一泊の温泉旅行をした。利用者の一人、Sさんは初めて旅行をし初めて温泉に入った。帰ってきて早速、次はどこへ行こうか夢を膨らませている。自信がついて行動半径が広がった。本当に良かったと思う。映画を見たときは、初めて映画館へ来たと言った人がいた。「えっ!この年で」と驚いたが現実だ。次は作業所で自信をつけて、社会就労を狙う人がでてきて欲しい。こんな活動を通して、一人一人の人生が少しは豊かになっていくのかなと思ってる。

さて、共同作業所も開設から2年が過ぎ、3年目を迎えている。わたしは、ひとつの節目だと考えている。

ノーマライゼーションの理念を掲げながら、保護された閉鎖社会になっていないだろうか。

一人一人のニーズに合った活動が、できているだろうか。また、通所していない在宅の障害者のニーズに答えているだろうか。

課題は山積みだ。

地域の中で、可能な限り普通の暮らしを実現する。皆さんのご理解、ご協力なしにはできません。これからもよろしくご支援ください。